

## 今日の日米における経済関係～将来への挑戦～

---

日米関係における貿易や投資の経済関係の結びつきはとても強い。しかしながら、アメリカと、カナダやヨーロッパ、メキシコなどの他の国との貿易を比べてみると日本とアメリカの貿易関係が小さいことがよくわかる。例えば、米からの輸出額をカナダと比べてみると日本が米輸出額の8.4%であるのに対し、カナダは22.7%と日本の2.5倍も多い。

だが、アメリカにとって日本との経済関係が重要でないのかというと、そうではない。実際、日本はアメリカの農業製品において一番大きな市場であるなど重要な位置を占めているのだ。

そして、アメリカ政府は今後、日本市場においてより多くの商品売ることを確信している。その理由として現在も需要の多い農業製品に加え、コンピューター関連製品の市場が拡大していることや、日本に対する経常収支赤字が過去に比べ減少していること、アメリカからの観点から見ても日本市場が以前に比べて閉鎖的でなくなったことが挙げられる。

よって、今後アメリカの独占市場にならないために日本が必要なことは、規制緩和によって企業間の競争を高めて技術発展を図り、より価格競争を激化する事、そして政府には日本の経済が改善するために明白な意思決定措置が望まれるであろう。そうしなければ、情報化の遅れなどにおける問題も含め、日本は自国の経済成長を妨げてしまうという結果に陥ってしまうであろう。